

## No. 15

キーワード	VAV(可変風量排気式)																							
対象	利用者	管理者	計画者	設計者	危険度レベル																			
質問者	◎	○			—																			
回答者	△	○	◎	◎																				
問題と対応	<p style="text-align: center;">Q</p> 省エネルギー化を図るため、一定排気型のヒュームフードにVAVシステム(可変風量排気装置)を設置する上で考慮しなければならないことがあるでしょうか。			<p style="text-align: center;">A</p> 既存の設備においては特に排気ダクトのサイズや経路を把握する必要があります。排気量が全く少ないヒュームフードでは、VAV制御もできません。必要に応じて排気ファンの能力をUPする必要があります。また、最大使用量(排気風量)に一定の制限を設け、その都度風量を振り分けながら使用するのが通常です。ヒュームフードの前を離れる際には必ず前面サッシを閉めてください。これにより無駄な排気を削減することができ、その分の排気風量を他の実験室やヒュームフードで使用することができます。																				
参考資料	局所排気装置と運用・管理の基礎知識とのリンク関係																							
	3. 運用と使用方法 4. 排気設備と換気設備	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">局所排気装置と運用・管理の基礎知識と要求事項整備</th> </tr> <tr> <th>項目名称</th> <th>参照先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1: 実験室における局所排気装置の基礎知識</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2: 気流構成と運転条件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3: 運用と使用方法</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>4: 排気設備と換気設備</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>5: 実験排ガスの処理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6: 実験室内の環境管理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7: 保守と点検</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8: 実験室に関する要求項目</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				局所排気装置と運用・管理の基礎知識と要求事項整備		項目名称	参照先	1: 実験室における局所排気装置の基礎知識		2: 気流構成と運転条件		3: 運用と使用方法	○	4: 排気設備と換気設備	○	5: 実験排ガスの処理		6: 実験室内の環境管理		7: 保守と点検		8: 実験室に関する要求項目
局所排気装置と運用・管理の基礎知識と要求事項整備																								
項目名称	参照先																							
1: 実験室における局所排気装置の基礎知識																								
2: 気流構成と運転条件																								
3: 運用と使用方法	○																							
4: 排気設備と換気設備	○																							
5: 実験排ガスの処理																								
6: 実験室内の環境管理																								
7: 保守と点検																								
8: 実験室に関する要求項目																								